

御 菌 小 だ よ い

平成25年1月21日
伊勢市立御菌小学校

No. 42

校長室より

昨日は大寒でした。暦の上では、小寒（1月5日）から立春までの間を寒の内と言いますが、その中間点で1年で最も寒い時期だと言われています。もっとも、実際には2月の中頃が寒さのピークと言えるのではないのでしょうか。ところで、この大寒の日に汲んだ水は腐らないという言い伝えがあります。それで、昔からお酒や味噌をこの大寒に汲んだ水で仕込んだのだそうです。確かに、最も寒い時期の水ですから、雑菌も少ないと考えられての発想でしょう。昔の人々の知恵の深さには驚かされますね。現実には腐らないことはないにしても、日々の体験の積み重ねから生まれたことなのでしょう。このような昔の生活の知恵が、科学の進歩によって証明されていくことって、決して少ないことではありませんね。

このような1年で最も寒い時期に咲く、桜の花があるのをご存じでしょうか。沖縄では桜祭りが開かれたというニュースも届いていますが、もちろんこの地方でのことです。その桜の花とは「寒桜（河津桜）」と言います。以前に静岡の方が神宮に奉納して植樹されたとか……。私も人からの又聞き



ですので、詳しいことはわかりませんが、毎年この時期に花を咲かせています。花期は長く、1ヶ月ぐらいは咲いているようです。他の木々が葉さえも落としている時期の開花ですから、何となく不思議で違和感を感じます。でも、桜の花は春咲くという先入観を捨てれば、冬咲くのはこの花の個性だと納得できますね。「みんな違って、みんないい」とつぶやきながら、しばらくこの桜の花を見つめていたのですが、やっぱり寒さには勝てず、足早に家路を急ぎました。

冬の学級園

寒い冬の植物の話題をもう1つ。夏から秋にかけて、ととにもぎやかだった学級園ですが、冬の真っ只中の今は、どうなっているのでしょうか。果たして野菜は・・・？ありました、ありました。



冬の日差しをしっかりと受けて、2種類の野菜が育っていました。その野菜とは、大根とチンゲンサイです。どちらも冬の代表的な野菜です。他の植物が寒さの中で凍えている中でも、しっかりと芽を出し、葉を伸ばしています。霜にだって負けてはいません。凍て付いた

土に根を張り、元気に成長しているのです。何だか感動的でもありました。北海道のある町では、気温がマイナス30度を越えたとか・・・。そんな中でも、植物は耐えて春を待っているのですね。

工事情報

①会議室の工事

先々週から、会議室の工事をしています。これは、以前から床下や壁の裏側が白蟻の被害にあっていたためです。予想より広範囲の修理になったため、2週間ほどかかって修繕をしていただきました。学校は鉄筋だから大丈夫と安易にかまえていましたが、いたるところに木材を使用していることに、あらためて気づかされました。



②避難階段工事

昨年完成した避難階段に照明とセンサー、そして監視カメラを取り付ける工事です。夜間に避難をしなければならないとき、真っ暗では避難に支障が出てきます。そのため、昼間に太陽光パネルで蓄電し、夜間に階段を照らすための照明工事をします。また、避難目的以外でこの階段に近づくと、回転灯が点灯したり、侵入者を監視するカメラも取り付けさせていただきます。あつてはならないことですが、もしもの時にこの階段がより有効に活用されるため工事です。この工事はまだ始まっていませんが、完成しますと階段が照明で明るくなります。決して消し忘れではなく、朝明るくなると自動的に消灯しますのでご安心ください。

避難訓練

阪神淡路大震災から18年。神戸でも震災を知らない世代が40パーセントを超えたとか。東日本大震災の被害とともに、決して風化させてはならない、忘れてはならない出来事ですね。

さて、この阪神大震災のあった1月17日、御菌小学校では地震の避難訓練を実施しました。今回は、年間計画にはなかった訓練です。前回の休み時間の訓練で、揺れている段階の想定で、外へ移動していった子どもが大変多かったため、もう一度実施することになったのです。もちろん、子どもたちには「近いうちに」とだけ伝えての実施でした。とても寒い日だったのですが、2回目とあつて子どもたちはそれぞれの場所で、上手に身を守ることができました。



教室では・・・



運動場では・・・

これからも、機会をとらえて、避難訓練等の防災教育に取り組んでいきたいと思ひます。ご家庭でも、避難場所や避難経路の確認をよろしくお願ひします。